

■ 第9回 オステオポンチン研究会 プログラム ■

日時 : 平成 21 年 9 月 12 日 (土) 13:00~17:00 (終了後、18:00~懇親会)
平成 21 年 9 月 13 日 (日) 9:00~12:00

会場 : 12 日…北海道大学遺伝子病制御研究所 5F セミナー室

(〒060-0815 北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目)

13 日…ムトウビル 6F 大講堂 (〒001-0011 北海道札幌市北区北 11 条西 4 丁目 1 番地)

参加費 : 無料

9 月 12 日 (土) 第 1 日目

13:00 - 13:10 開会の辞 上出 利光 先生 (北海道大学遺伝子病制御研究所 分子免疫分野)

13:10 - 14:30 セッション 1

座長 : 今野 哲 先生 (北海道大学 第一内科)

13:10 - 13:30 演題 1 :

オステオポンチン蛋白多型は樹状細胞による抗原提示を修飾する

宮崎龍彦¹⁾、田中ゆき¹⁾、倉田美恵¹⁾、小野栄夫²⁾、能勢真人¹⁾

1) 愛媛大学大学院医学系研究科 ゲノム病理学、

2) 東北大学大学院医学研究科 病理病態学

13:30 - 13:50 演題 2 :

オステオポンチンの尿路結石形成に関わるアミノ酸配列の同定と機能解析

浜本周造¹⁾、野村慎太郎²⁾、安井孝周¹⁾、岡田淳志¹⁾、広瀬真仁¹⁾、小林隆宏¹⁾、

新美和寛¹⁾、藤井泰普¹⁾、戸澤啓一¹⁾、郡健二郎¹⁾

1) 名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野、

2) 大阪大学大学院医学系研究科 幹細胞病理学

13:50 - 14:10 演題 3 :

Osteopontin による変形性関節症の発症及び進行抑制効果

松井雄一郎¹⁾、岩崎倫政¹⁾、三浪明男¹⁾、今重之²⁾、上出利光²⁾

1) 北海道大学 整形外科、2) 北海道大学遺伝子病制御研究所 分子免疫分野

14:10 - 14:30 演題 4 :

心筋梗塞における Syndecan-4 の機能解析

松井裕¹⁾、池末昌弘²⁾、森本純子²⁾、小嶋哲人³⁾、上出利光²⁾

1) 北海道大学遺伝子病制御研究所 マトリックスメディスン研究部門、

2) 北海道大学遺伝子病制御研究所 分子免疫分野、

3) 名古屋大学医学部 保健学科

14 : 30 - 15 : 30 **セッション 2**

座長：持田 智 先生（埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科）

14 : 30 - 14 : 50 **演題 5 :**

肝病態の性差を規定する宿主要因:Osteopontin 遺伝子 promoter SNPs と雌性特有の新規転写因子の意義

名越澄子、内木佳代子、濱岡和宏、菅原通子、稲生実枝、中山伸朗、藤原研司、持田智

埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科、横浜労災病院

14 : 50 - 15 : 10 **演題 6 :**

インフルエンザ A ウイルス感染防御免疫応答における Opi の機能解析

森本純子¹⁾、佐藤佳代子²⁾、伊藤甲雄¹⁾、中山洋佑²⁾、松井裕¹⁾、喜田宏²⁾、宮崎忠昭²⁾、上出利光¹⁾

1) 北海道大学遺伝子病制御研究所病因研究部門 分子免疫分野、

2) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

15 : 10 - 15 : 30 **演題 7 :**

Regulation of T cell responses by a novel subset of resident splenic macrophages

Daisuke Kurotaki¹⁾, Junko Morimoto²⁾, Bae Kyeonghwa²⁾ and Toshimitsu Uede^{1), 2)}

1) Division of Matrix Medicine and 2) Molecular Immunology, Institute for Genetic Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan

15 : 30 - 15 : 40 **休憩**

15 : 40 - 16 : 40 セッション 3

座長：宮崎 龍彦 先生（愛媛大学 ゲノム病理学）

15 : 40 - 16 : 00 演題 8 :

アレルギー全身感作に及ぼすオステオポンチン(OPN)の影響

今野哲¹⁾、黒川真嗣²⁾、高橋歩¹⁾、松井裕³⁾、上出利光³⁾、
足立満²⁾、西村正治¹⁾、Shau-Ku Huang⁴⁾

1) 北海道大学医学部 第一内科、2) 昭和大学医学部 呼吸器・アレルギー内科、
3) 北海道大学遺伝子病制御研究所 分子免疫分野、4) Division of Allergy and
Clinical Immunology, Department of Medicine, Johns Hopkins University

16 : 00 - 16 : 20 演題 9 :

**Synovial fibroblasts and macrophages differentially contributes to the
development of autoimmune arthritis via $\alpha 9$ integrin**

Masashi Kanayama¹⁾, Daisuke Kurotaki²⁾, Tsuyoshi Asano^{1),3)}, Junko
Morimoto¹⁾, Yutaka Matsui²⁾ and Toshimitsu Uede¹⁾

1) Division of Molecular Immunology, Institute for Genetic Medicine, Hokkaido
University,

2) Department of Matrix Medicine, Institute for Genetic Medicine, Hokkaido
University,

3) Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medicine, Hokkaido
University

16 : 20 - 16 : 40 演題 10 :

**ヒトオステオポンチン遺伝子ノックインマウス(FL-OPN KI)における OPN の発現解
析**

藤原幸雄¹⁾、瀬川辰也²⁾、前田雅弘²⁾

株式会社 免疫生物研究所 製造開発部 1) 三笠研究所、2) 藤岡研究所

16 : 40 - 17 : 00 教育講演

座長：松井 裕 先生（北海道大学遺伝子病制御研究所 マトリックスメディ
シン研究部門）

Osteopontin and its Involvement in Stress Responses

Dr. Kathryn X. Wang

**Sanofi-Aventis U.S., Department of Exploratory Internal Medicine, New
Jersey, USA**

18 : 00 - 懇親会 於 北海道大学エンレイソウレストラン エルム

9月13日(日)第2日目

9:00 - 10:00

特別講演

座長：上出 利光 先生（北海道大学遺伝子病制御研究所 分子免疫分野）

Characterization of Novel Anti-Osteopontin Monoclonal Antibodies

Dr. David T. Denhardt

Department of Cell Biology and Neuroscience, Rutgers, The State University of New Jersey

10:00 - 10:10

休憩

10:10 - 11:10

セッション4

座長：雑賀 司珠也 先生（和歌山県立医科大学 眼科）

10:10 - 10:30

演題 11:

Tenascin-C は乳癌細胞の上皮間葉移行を誘導する

吉田利通¹⁾、永春圭規¹⁾、小塚祐司²⁾、花村典子³⁾

三重大学大学院医学系研究科

1) 修復再生病理、2) 腫瘍病態解明、3) 乳腺外科

10:30 - 10:50

演題 12:

Administration of osteopontin small interfering RNA ameliorates experimental autoimmune uveoretinitis model in mice.

Kazuya Iwabuchi^{1), 4)}, Daiju Iwata^{1), 3)}, Mizuki Kitamura^{1), 3)}, Yoshinari Saito²⁾, Shigeyuki Kon²⁾, Junko Morimoto²⁾, Shigeaki Ohno^{3), 4)}, Susumu Ishida³⁾, Toshimitsu Uede²⁾ and Kazunori Onoe¹⁾

Division of 1) Immunobiology, 2) Molecular Immunology, Institute for Genetic Medicine; Department of 3) Ophthalmology, 4) Ocular Inflammation and Immunology,

Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan

10:50 - 11:10

演題 13:

オステオポンチンの欠如は皮膚創傷治癒を遅延する

木田真紀¹⁾、岡田由香²⁾、藤田織人²⁾、北野愛²⁾、雑賀司珠也²⁾、上出利光³⁾

1) 和歌山県立医科大学 救急集中治療部、2) 和歌山県立医科大学 眼科、3) 北海道大学 遺伝子病制御研究所

- 11 : 10 - 11 : 50** **セッション 5**
座長：岩渕 和也 先生（北海道大学遺伝子病制御研究所 免疫生物分野）
- 11 : 10 - 11 : 30** **演題 14 :**
アルドステロンによる腎線維化には、オステオポンチンにより惹起される酸化ストレスが関与する
入田純、大蔵隆文、長尾知明、城徳昌典、榎本大次郎、倉田美恵、三好賢一、
檜垣實男
愛媛大学大学院医学系研究科 病態情報内科学
- 11 : 30 - 11 : 50** **演題 15 :**
絡膜血管新生におけるオステオポンチンの役割
藤田識人¹⁾、岡田由香¹⁾、上出利光²⁾、今重之²⁾、Susan R. Rittling³⁾、
David T. Denhardt³⁾、松岡雅人⁴⁾、緒方奈保子⁴⁾、雑賀司珠也¹⁾
1) 和歌山県立医科大学、2) 北海道大学遺伝子病制御研究所 分子免疫分野、
3) Departments of Genetics and Cell Biology and Neuroscience, Rutgers
University, Piscataway, NJ, USA. 、4) 関西医科大学
- 11 : 50 - 12 : 00** **閉会の辞** 上出 利光 先生（北海道大学遺伝子病制御研究所 分子免疫分野）